

JAMCA ジヤムカ ニュース

The Japan Automobile Maintenance Colleges Association

No.24
2000年1月1日

発行
協会事務局 全国自動車整備専門学校協会
〒160-0015 東京都新宿区大京町31
ヴィップ新宿御苑 ☎ 03-3356-7066
編集事務局 〒125-0002 東京都葛飾区西亀有3-28-3
☎ 03-3601-2535 FAX 03-3601-2988



期待と不安の2000年

土岐自動車工学専門学校
全国自動車整備専門学校協会副会長

齋木 寛治

新世紀の到来をまさに告げようとする2000年という大きな節目の年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。新しい年への期待と不安が入り交じり、複雑な気持ちを隠し得ません。いつもと変わらぬ年明けと言いたいのですが、100年単位でしか味わえない2000年という年は、やはり我々自動車産業界においても重要な節目を迎えていると言えます。

わが国の100年前は年号で明治33年です。この年、皇太子殿下のご成婚を祝し、サンフランシスコの在住邦人の人たちが電気自動車を献納された年であります。この車は、わが国に渡来した第2番目の自動車でした。第1号は、1898年(明治31年)に1人のフランス人によって持ち込まれたパナール・ルバソールというガソリン自動車でした。

いずれにしても、わが国の自動車史はここからスタートし、100年の歴史が始まりました。当時としては、こうした自動車の出現はまさに時代を変える革命的な存在だったに違いありません。そのメカニズムは言うに及ばず、この技術への対応の早さにも驚かされました。わが国に自動車が出現してわずか数年の間に、日本で最初の国産自動車が出現したからです。いかに優れた技術者たちが



いたかを物語ると同時に、その車造りの意欲に敬服する1人です。

技術者といえば、自動車技師、林平太郎先生の生涯が、新聞で紹介されたことを思い出しました。彼は小学校の教員をしていましたが、自ら転職し技師としての道を選び、外国製自動車の研究に精進したという記事でした。

冒頭で、今まさに2000年の時代を迎え期待と不安と書きましたが、これから迎える10年は、今まで歩んで来た100年に匹敵する程の革命的变化を実現していくと思います。そんな期待は、既に東京モーターショーで紹介され、新世紀に対応させる新技术をご覧になられた方々も多いことと思います。

中でもITS先進機能は、高度な車両制御技術により、革新的な安全走行の価値を創造し、円滑で環境に優しい車社会を実現してくれます。

更に、電気自動車、ハイブリッド車、天然ガス自動車そして燃料電池車などは将来を見据えて、クリーンなエネルギー車の実現に向け、開発が進められています。人と車そして環境への対応は、21世紀を前にして取り組まなければならない大きな課題といえます。

一方で不安と述べましたが、それはこうした先進技術の教育への対応は万全でしょうか。今までの機構や過去の技術が、生かされるという時代ではなくなりつつあり、それらに対して、今から新しい整備士像というものを、築き上げる必要があるのではないのでしょうか。一級整備士の実現を前にして、教育内容の再検討も必要ですが、より一層優秀な技術者の育成に努めることが、将来の自動車産業界を担うメカニックの道を創造していくものと信じます。

末筆となりましたが、年の初めにあたり会員各校のますますのご繁栄を心より祈念申し上げます。

CONTENTS

- 2面 OPINION
- 3面 北から南から
- 4・5面 特集・新春座談会
- 6面 協会トピックス
- 7面 活躍卒業生・地区通信
- 8面 私の教材活用・編集後記